

読書活動推進の取組

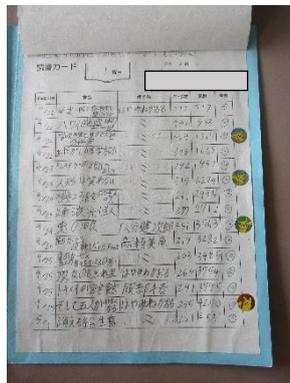
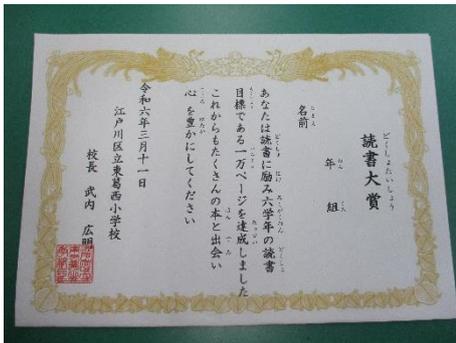
学力向上推進部

- <目的> 「本好きな子どもを育てる。本で学ぶ子どもを育てる」
- <目指す読書>
- ・読むだけの時間から目的をもった読書時間へ
 - ・考えを深め創造力を育む豊かな読書、広がる読書へ
 - ・感動を分かち合い交流する読書、深める読書へ
 - ・自由な意見や発想を尊重する読書へ

① 「読書に親しむ」活動

読書カード

- ・学年ごとに読書目標を設定し、達成者には認定証を渡しています。
- ・1年間の目標は、1年生…100冊、2年生…150冊、3年生…6000ページ、4年生…8000ページ、5年生…9000ページ、6年生…10000ページ。

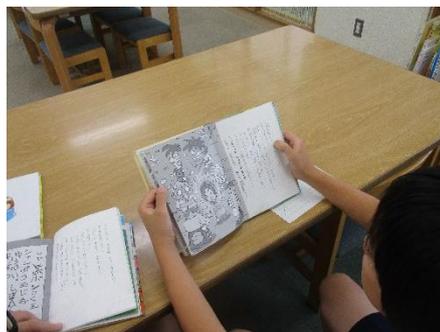


目標達成に向けて
楽しく読書に取り
組んでいます。

朝読書

- ・朝自習の時間を利用して年間69回（合計23時間）、火曜日・木曜日を中心に「朝読書」を行っています。
- ・火曜日は、図書ボランティアによる読み聞かせ活動が行われています。

様々な本と出会い、
読書の幅を広
げています。



②「読書から学ぶ」活動

〈目指す児童像〉主体的に読む子ども・問い続ける子ども

読書の質を高め、問題を発見・解決するといった学びを継続的に行っていく。

- (1) 読書から生きていくために必要な様々な知識・能力を習得するとともに、資料の収集の仕方、記録の取り方を身に付けることができるようにする。
- (2) 問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ・表現することができるようにする。
- (3) 読書及び読書を通じた探究的な学習の良さを認識し、主体的に取り組むとともに、社会の中で積極的に学び続けていこうとする態度を養う。

読書科

- ・ 12時間授業時間として、図書資料を扱う読書科を行っています。
- ・ 江戸川区より出ている読書科指導指針や読書科ノートを活用しています。

読書科12時間の活動例

1・2年	3・4年	5・6年
図書室の使い方 調べはかせになろう1、2 読書発表会 など	日本十進分類法について学ぶ 百科事典を使おう 読書発表会 ビブリオバトル など	読書年表をつくろう 物語創作・読み聞かせ 江戸川っ子 読書科コンクール ブックトーク など

〈内容〉知識及び技能

	基礎期（小学校第1～4学年）	活用期（小学校第5学年～中学校第1学年）
ア 読書の仕方	自分で選んだ本を読み、その内容について発表したり紹介したりすることができるように理解すること。	目的に応じた本を読み、その内容について話し合ったり感想を交流したりできるように理解すること。
イ 情報の収集	疑問の解決のために、図書館資料から、情報を収集すること。	問題解決のために、図書館資料から、情報を収集すること。
ウ 記録の取り方	身近な生活に関する図書館資料を読み、必要な情報を抜き出すこと。	様々な図書館資料を読み、目的に応じて必要な情報を抜き出し、記録すること。

思考力、判断力、表現力等

	基礎期（小学校第1～4学年）	活用期（小学校第5学年～中学校第1学年）
ア 問題の発見	身近な生活と結び付けて、調べたいことを見付けること。	身近な人や社会、自然と関わる様々な事象を自分の考えや経験等と関連付け、問題を見付けること。
イ 問題の解決	疑問の解決のために、情報を比較・分類すること。	問題解決のために、収集した情報を整理・分析すること。
ウ まとめ・表現	自分の考えをもち、他者に伝えること。	自分の考えを分かりやすくまとめ、表現すること。